



平成 25 年 12 月 10 日

各 位

会 社 名 川田テクノロジーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 川田 忠裕
(コード番号 3443 東証第 1 部)
問合せ先 経理部長 宮田 謙作
(TEL. 03-3915-7632)

(訂正)「平成 24 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 25 年 12 月 2 日付の当社適時開示「過年度決算修正による見込みの概要および決算発表予定日について」でお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 23 年 8 月 10 日付「平成 24 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせします。

訂正箇所が多数に上るため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線 を付して表示しています。

以 上

【訂正後】



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場会社名 川田テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 3443 URL http://www.kawada.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川田 忠裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 渡邊 敏 (TEL) 03(3915)7722
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	18,921	△7.8	△118	—	483	△65.4	623	△43.8
23年3月期第1四半期	20,521	△23.3	945	64.9	1,400	222.4	1,109	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 630百万円(—%) 23年3月期第1四半期 1,070百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	109.43	—
23年3月期第1四半期	194.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	93,649	28,544	30.2
23年3月期	100,124	28,198	28.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 28,324百万円 23年3月期 28,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	50.00	50.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,000	△17.8	100	△96.7	100	△98.8	100	△98.6	17.56
通期	81,000	△17.6	300	△86.6	300	△95.9	300	△90.6	52.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期1Q	5,781,070株	23年3月期	5,781,070株
24年3月期1Q	81,832株	23年3月期	81,781株
24年3月期1Q	5,699,272株	23年3月期1Q	5,694,204株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	3
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	四半期連結財務諸表	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3)	継続企業の前提に関する注記	8
(4)	セグメント情報等	8
(5)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4.	補足情報	10
	生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により国内生産をはじめとする企業活動に甚大な被害を受けました。一方で、サプライチェーンの復旧など回復の兆しが見られますが、放射能汚染の問題や全国的な電力供給不安に加え、欧州の財政不安や米国経済の下振れリスクなど、依然として先行き不透明な状況が続いています。

建設業界につきましては、公共工事の需要は依然として低位推移の状況に変化はなく、民間工事においても震災の影響による新規事業への慎重な姿勢、設備投資の見直しや先送りなど受注環境は一層厳しさを増しています。

このような状況のもと、当社グループは受注量と利益の確保を第一義とし、積極的な営業活動を展開するとともに原価の低減や採算性の向上に努めてまいりました。しかしながら、受注高は11,307百万円（前年同四半期比30.7%減）、売上高は18,921百万円（前年同四半期比7.8%減）の業績となりました。

収益面につきましては、営業損失は118百万円（前年同四半期は営業利益945百万円）、経常利益は483百万円（前年同四半期比65.4%減）、四半期純利益は623百万円（前年同四半期比43.8%減）の計上となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

(鉄構セグメント)

鉄構セグメントにおきましては、売上高は11,249百万円（前年同四半期比2.6%増）と前年度とほぼ同水準を確保しました。収益面では、鋼材価格の高騰などの影響により、低採算の工事が増加したことで利益を圧迫し、営業利益は585百万円（前年同四半期比61.9%減）と前年度を大きく下回る結果となりました。

(土木セグメント)

土木セグメントにおきましては、年度繰越工事高の減少により、売上高は4,802百万円（前年同四半期比31.4%減）となりました。また収益面では、不採算工事受注による工事損失引当金が減少しましたが、売上高の落ち込みが影響し、各既存工事の原価低減に努めたものの、21百万円（前年同四半期比70.8%増）の営業損失となりました。

(建築セグメント)

建築セグメントにおきましては、年度繰越工事の進捗が順調に推移したことで売上高は1,842百万円（前年同四半期比35.0%増）となりました。収益面では、コスト削減や生産性の向上などに積極的に取り組む、営業利益30百万円（前年同四半期は営業損失41百万円）と採算を確保することができました。

(その他)

その他におきましては、売上高は1,433百万円（前年同四半期比13.3%減）にとどまりました。収益面では、売上高が減少したため販売費及び一般管理費を賄いきれず、営業損失324百万円（前年同四半期比75.7%増）の計上となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間における「資産の部」は、93,649百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,475百万円 (△6.5%) 減少しました。これは主に前連結会計年度末までに完成した工事債権の回収及び受取手形の決済等が進み、受取手形・完成工事未収入金等が7,766百万円減少し、現金預金が1,353百万円増加したことによるものであります。

また、「負債の部」は、65,105百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,820百万円 (△9.5%) 減少しました。これは主に短期借入金返済により4,324百万円減少したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は28,544百万円となり、前連結会計年度末に比べ345百万円 (+1.2%) 増加しました。これは主に剰余金の配当により284百万円減少し、当四半期純利益の計上により623百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前期末の28.0%から30.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点で合理的に把握出来るものを反映した結果、第2四半期連結累計期間、及び通期業績予想につきましては、平成23年5月13日公表の連結業績予想の内容と変更はございません。なお、今後何らかの変化が認識された場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	6,722	8,075
受取手形・完成工事未収入金等	38,114	30,347
未成工事支出金	602	486
その他のたな卸資産	676	742
繰延税金資産	49	19
その他	3,093	2,384
貸倒引当金	△263	△242
流動資産合計	48,995	41,816
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	5,213	5,176
機械・運搬具及び工具器具備品(純額)	1,840	1,729
航空機(純額)	809	955
土地	16,484	16,484
リース資産(純額)	2,670	2,682
建設仮勘定	67	375
有形固定資産合計	27,085	27,403
無形固定資産	973	959
投資その他の資産		
投資有価証券	794	768
関係会社株式	19,592	20,093
長期貸付金	542	538
繰延税金資産	25	44
その他	3,108	2,681
貸倒引当金	△1,016	△679
投資その他の資産合計	23,046	23,446
固定資産合計	51,105	51,810
繰延資産		
創立費	23	21
繰延資産合計	23	21
資産合計	100,124	93,649

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	21,398	18,723
短期借入金	11,601	7,276
1年内返済予定の長期借入金	6,290	6,329
1年内償還予定の社債	358	340
未払法人税等	83	122
未成工事受入金	3,501	3,622
賞与引当金	810	572
完成工事補償引当金	62	82
工事損失引当金	3,319	2,702
損害補償損失引当金	805	789
災害損失引当金	77	57
資産除去債務	5	5
その他	3,342	3,396
流動負債合計	51,657	44,023
固定負債		
社債	335	325
長期借入金	11,180	12,024
再評価に係る繰延税金負債	2,243	2,243
退職給付引当金	3,204	3,219
役員退職慰労引当金	284	262
事業構造改善引当金	300	300
資産除去債務	141	141
負ののれん	306	301
その他	2,271	2,263
固定負債合計	20,267	21,082
負債合計	71,925	65,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	10,368	10,368
利益剰余金	12,776	13,115
自己株式	△276	△276
株主資本合計	27,868	28,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	14
土地再評価差額金	99	99
為替換算調整勘定	3	3
その他の包括利益累計額合計	134	117
少数株主持分	196	219
純資産合計	28,198	28,544
負債純資産合計	100,124	93,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	20,521	18,921
売上原価	17,884	17,459
売上総利益	2,636	1,462
販売費及び一般管理費	1,690	1,581
営業利益又は営業損失(△)	945	△118
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	27	31
受取賃貸料	72	55
負ののれん償却額	5	5
持分法による投資利益	703	497
貸倒引当金戻入額	—	306
その他	16	54
営業外収益合計	827	952
営業外費用		
支払利息	218	204
賃貸費用	145	130
その他	9	14
営業外費用合計	373	349
経常利益	1,400	483
特別利益		
前期損益修正益	0	—
固定資産売却益	26	—
貸倒引当金戻入額	218	—
保険差益	—	328
その他	5	—
特別利益合計	250	328
特別損失		
固定資産売却損	7	—
固定資産除却損	4	10
投資有価証券評価損	—	5
独禁法違反に係る損失	—	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	116	—
災害による損失	—	7
その他	1	1
特別損失合計	129	27
税金等調整前四半期純利益	1,520	784
法人税、住民税及び事業税	27	125
過年度法人税等	12	—
法人税等調整額	397	11
法人税等合計	438	136
少数株主損益調整前四半期純利益	1,082	647
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△26	24
四半期純利益	1,109	623

(四半期連結包括利益計算書)

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,082	647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	△20
持分法適用会社に対する持分相当額	8	3
その他の包括利益合計	△12	△17
四半期包括利益	1,070	630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,098	606
少数株主に係る四半期包括利益	△27	23

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	10,666	6,887	1,360	18,914	1,606	20,521
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	301	117	4	422	45	468
計	10,967	7,005	1,365	19,337	1,652	20,989
セグメント利益又は損失(△)	1,535	△12	△41	1,481	△184	1,296

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,481
「その他」の区分の損失(△)	△184
セグメント間取引消去	61
全社費用(注)	△475
その他の調整額	63
四半期連結損益計算書の営業利益	945

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	10,994	4,690	1,842	17,526	1,394	18,921
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	255	112	—	368	38	406
計	11,249	4,802	1,842	17,894	1,433	19,327
セグメント利益又は損失(△)	585	△21	30	593	△324	269

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	593
「その他」の区分の損失(△)	△324
セグメント間取引消去	54
全社費用(注)	△465
その他の調整額	22
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△118

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 受注実績

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) (百万円)	
		対前年同 四半期比(%)
鉄構	6,179	△37.7
土木	1,595	△55.5
建築	1,974	+102.0
その他	1,558	△15.4
合計	11,307	△30.7

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。

② 販売実績

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) (百万円)	
		対前年同 四半期比(%)
鉄構	11,249	+2.6
土木	4,802	△31.4
建築	1,842	+35.0
その他	1,433	△13.3
計	19,327	△7.9
セグメント間取引相殺消去	△406	△13.2
連結	18,921	△7.8

(注) 当社グループでは生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載していません。

【訂正前】



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場会社名 川田テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 3443 URL http://www.kawada.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川田 忠裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 渡邊 敏 (TEL) 03(3915)7722
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	18,921	△7.8	△118	—	154	△90.8	215	△84.5
23年3月期第1四半期	20,521	△23.3	945	64.9	1,682	254.7	1,390	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 221百万円(—%) 23年3月期第1四半期 1,351百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	37.81	—
23年3月期第1四半期	244.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	92,975	27,544	29.4
23年3月期	99,864	27,607	27.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 27,355百万円 23年3月期 27,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	50.00	50.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,000	△17.8	100	△96.7	100	△97.4	100	△98.6	17.56
通期	81,000	△17.6	300	△86.6	300	△90.8	300	△90.9	52.67

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期1Q	5,781,070株	23年3月期	5,781,070株
24年3月期1Q	81,832株	23年3月期	81,781株
24年3月期1Q	5,699,272株	23年3月期1Q	5,694,204株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	3
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	四半期連結財務諸表	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3)	継続企業の前提に関する注記	8
(4)	セグメント情報等	8
(5)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4.	補足情報	10
	生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により国内生産をはじめとする企業活動に甚大な被害を受けました。一方で、サプライチェーンの復旧など回復の兆しが見られますが、放射能汚染の問題や全国的な電力供給不安に加え、欧州の財政不安や米国経済の下振れリスクなど、依然として先行き不透明な状況が続いています。

建設業界につきましては、公共工事の需要は依然として低位推移の状況に変化はなく、民間工事においても震災の影響による新規事業への慎重な姿勢、設備投資の見直しや先送りなど受注環境は一層厳しさを増しています。

このような状況のもと、当社グループは受注量と利益の確保を第一義とし、積極的な営業活動を展開するとともに原価の低減や採算性の向上に努めてまいりました。しかしながら、受注高は11,307百万円（前年同四半期比30.7%減）、売上高は18,921百万円（前年同四半期比7.8%減）の業績となりました。

収益面につきましては、営業損失は118百万円（前年同四半期は営業利益945百万円）、経常利益は154百万円（前年同四半期比90.8%減）、四半期純利益は215百万円（前年同四半期比84.5%減）の計上となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

（鉄構セグメント）

鉄構セグメントにおきましては、売上高は11,249百万円（前年同四半期比2.6%増）と前年度とほぼ同水準を確保しました。収益面では、鋼材価格の高騰などの影響により、低採算の工事が増加したことで利益を圧迫し、営業利益は585百万円（前年同四半期比61.9%減）と前年度を大きく下回る結果となりました。

（土木セグメント）

土木セグメントにおきましては、年度繰越工事高の減少により、売上高は4,802百万円（前年同四半期比31.4%減）となりました。また収益面では、不採算工事受注による工事損失引当金が減少しましたが、売上高の落ち込みが影響し、各既存工事の原価低減に努めたものの、21百万円（前年同四半期比70.8%増）の営業損失となりました。

（建築セグメント）

建築セグメントにおきましては、年度繰越工事の進捗が順調に推移したことで売上高は1,842百万円（前年同四半期比35.0%増）となりました。収益面では、コスト削減や生産性の向上などに積極的に取り組み、営業利益30百万円（前年同四半期は営業損失41百万円）と採算を確保することができました。

（その他）

その他におきましては、売上高は1,433百万円（前年同四半期比13.3%減）にとどまりました。収益面では、売上高が減少したため販売費及び一般管理費を賄いきれず、営業損失324百万円（前年同四半期比75.7%増）の計上となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間における「資産の部」は、92,975百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,889百万円 ($\Delta 6.9\%$) 減少しました。これは主に前連結会計年度末までに完成した工事債権の回収及び受取手形の決済等が進み、受取手形・完成工事未収入金等が7,766百万円減少し、現金預金が1,353百万円増加したことによるものであります。

また、「負債の部」は、65,431百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,825百万円 ($\Delta 9.4\%$) 減少しました。これは主に短期借入金返済により4,324百万円減少したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は27,544百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円 ($\Delta 0.2\%$) 減少しました。これは主に剰余金の配当により284百万円減少し、当四半期純利益の計上により215百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前期末の27.5%から29.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点で合理的に把握出来るものを反映した結果、第2四半期連結累計期間、及び通期業績予想につきましては、平成23年5月13日公表の連結業績予想の内容と変更はございません。なお、今後何らかの変化が認識された場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	6,722	8,075
受取手形・完成工事未収入金等	38,114	30,347
未成工事支出金	602	486
その他のたな卸資産	676	742
繰延税金資産	205	97
その他	3,093	2,384
貸倒引当金	△263	△242
流動資産合計	49,150	41,894
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	5,213	5,176
機械・運搬具及び工具器具備品(純額)	1,840	1,729
航空機(純額)	809	955
土地	16,484	16,484
リース資産(純額)	2,670	2,682
建設仮勘定	67	375
有形固定資産合計	27,085	27,403
無形固定資産	973	959
投資その他の資産		
投資有価証券	794	768
関係会社株式	19,176	19,342
長期貸付金	542	538
繰延税金資産	25	44
その他	3,108	2,681
貸倒引当金	△1,016	△679
投資その他の資産合計	22,630	22,695
固定資産合計	50,689	51,059
繰延資産		
創立費	23	21
繰延資産合計	23	21
資産合計	99,864	92,975

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	21,398	18,723
短期借入金	11,601	7,276
1年内返済予定の長期借入金	6,290	6,329
1年内償還予定の社債	358	340
未払法人税等	83	122
未成工事受入金	3,501	3,622
賞与引当金	810	572
完成工事補償引当金	62	82
工事損失引当金	3,319	2,702
損害補償損失引当金	805	789
災害損失引当金	77	57
資産除去債務	5	5
その他	3,342	3,396
流動負債合計	51,657	44,023
固定負債		
社債	335	325
長期借入金	11,180	12,024
再評価に係る繰延税金負債	2,243	2,243
退職給付引当金	3,204	3,219
役員退職慰労引当金	284	262
事業構造改善引当金	300	300
資産除去債務	141	141
負ののれん	637	627
その他	2,271	2,263
固定負債合計	20,599	21,408
負債合計	72,257	65,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	10,368	10,368
利益剰余金	12,220	12,151
自己株式	△276	△276
株主資本合計	27,312	27,243
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	13
土地再評価差額金	99	99
その他の包括利益累計額合計	129	112
少数株主持分	165	188
純資産合計	27,607	27,544
負債純資産合計	99,864	92,975

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	20,521	18,921
売上原価	17,884	17,459
売上総利益	2,636	1,462
販売費及び一般管理費	1,690	1,581
営業利益又は営業損失(△)	945	△118
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	27	31
受取賃貸料	72	55
負ののれん償却額	10	10
持分法による投資利益	979	162
貸倒引当金戻入額	—	306
その他	16	54
営業外収益合計	1,109	622
営業外費用		
支払利息	218	204
賃貸費用	145	130
その他	9	14
営業外費用合計	373	349
経常利益	1,682	154
特別利益		
前期損益修正益	0	—
固定資産売却益	26	—
貸倒引当金戻入額	218	—
保険差益	—	328
その他	5	—
特別利益合計	250	328
特別損失		
固定資産売却損	7	—
固定資産除却損	4	10
投資有価証券評価損	—	5
独禁法違反に係る損失	—	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	116	—
災害による損失	—	7
その他	1	1
特別損失合計	129	27
税金等調整前四半期純利益	1,802	454
法人税、住民税及び事業税	27	125
過年度法人税等	12	—
法人税等調整額	397	89
法人税等合計	438	215
少数株主損益調整前四半期純利益	1,364	239
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△26	24
四半期純利益	1,390	215

(四半期連結包括利益計算書)

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,364	239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	△20
持分法適用会社に対する持分相当額	8	3
その他の包括利益合計	△12	△17
四半期包括利益	1,351	221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,379	198
少数株主に係る四半期包括利益	△27	23

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	10,666	6,887	1,360	18,914	1,606	20,521
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	301	117	4	422	45	468
計	10,967	7,005	1,365	19,337	1,652	20,989
セグメント利益又は損失(△)	1,535	△12	△41	1,481	△184	1,296

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,481
「その他」の区分の損失(△)	△184
セグメント間取引消去	61
全社費用(注)	△475
その他の調整額	63
四半期連結損益計算書の営業利益	945

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	10,994	4,690	1,842	17,526	1,394	18,921
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	255	112	—	368	38	406
計	11,249	4,802	1,842	17,894	1,433	19,327
セグメント利益又は損失(△)	585	△21	30	593	△324	269

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	593
「その他」の区分の損失(△)	△324
セグメント間取引消去	54
全社費用(注)	△465
その他の調整額	22
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△118

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 受注実績

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) (百万円)	
		対前年同 四半期比(%)
鉄構	6,179	△37.7
土木	1,595	△55.5
建築	1,974	+102.0
その他	1,558	△15.4
合計	11,307	△30.7

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。

② 販売実績

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) (百万円)	
		対前年同 四半期比(%)
鉄構	11,249	+2.6
土木	4,802	△31.4
建築	1,842	+35.0
その他	1,433	△13.3
計	19,327	△7.9
セグメント間取引相殺消去	△406	△13.2
連結	18,921	△7.8

(注) 当社グループでは生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載していません。